



## 国際ロータリー第2610地区 南砺ロータリークラブ クラブ会報

# なんと

NO. 2083

URL <http://www.nanto-rc.jp>E-mail [office@nanto-rc.jp](mailto:office@nanto-rc.jp)

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/金沢信用金庫福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影  
写真同好会  
南部勉会員

ひまわり畑

### 第2143回例会 平成23年9月13日(火)晴

◆点鐘 12:30 司会 税光信作 SAA

◆ソング「奉仕の理想」

◆ゲスト 湖南学院院長 田中 徹氏  
南砺RAC会長 小林 誠君

◆会長の時間 松井洋司会長

先日のガバナー訪問、御苦勞様でした。ガバナーは、ラオスの農業支援センターの件を特に強調され、協力要請を再三言葉にされました。前向きに考えたいと思います。

クラブ活動の内容については特段の指導は無く、むしろ南砺RACの同好会の多彩さに感心され、とりわけ、経済金融同好会には、特に興味を示されました。可能なら一度参加してみたいとの意向でした。

さて、今月は「新世代のための月間」となっています。今期に入り、今迄の四大奉仕に新たに「新世代奉仕」を加え五大奉仕として組織を一部変更し、青少年育成に対してのより積極的な取組の方針が打ち出されています。

私達ロータリアンは若い人達、「新世代」の多様なニーズを知り、より素晴らしい未来を確実なものとする為に、生活力を高め、将来への準備をするためのプロジェクトを助ける必要があります。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己啓発です。

ロータリーの新世代支援のプロジェクトには、ローターアクト、インターアクト、ライラ（青少年指導者養成プログラム）、青少年交換等があります。アクトの会員減少については、是非皆様の協力も仰ぎ、何とか活力をとりもどしたいものです。

◆理事会・幹事報告 吉田 勉幹事

- ①片山道代会員10月より復帰。
- ②吉江康幸会員退会届け受理。
- ③高岡西、小矢部、新湊、小矢部中RCより例会変更の案内。
- ④地区広報委員会よりHPリニューアル予算200万円使用承認願。

◆出席報告 古瀬喜八郎委員長

会員数	9月13日出席率	8月30日の修正
53 (免除1)	82.69% (欠9)	84.62% (欠8メーク1)

メーキャップ：荒井 進君

## ◆委員会報告

○社会奉仕 高田喜一委員長  
10/4は例会変更で「つくばね森林公園」にて11:30~12:30食事  
12:30卓話=西川雄策会員、13:00ブナ林探索。各自乗合わせて

○親睦活動 木村伊徳委員長  
10/18白川どぶろく祭は13:10駅前バス出発、15:00白川村着、  
17:00城山館、17:30卓話、18:00懇親会の予定。家族の方歓迎。

○野球同好会 古軸裕一会員  
9/19第4分区野球大会…千羽平野球場。当日はロコ10時集合、  
11:30開会式、3チーム総当り、懇親会は松ざかや18:30会員歓迎。  
○会員情報①片山浩会員=キャサリンからメール受信、②荒井会員

◆①キャサリン・ハレット(旧姓ヤング=2003交換留学生)現27歳  
9/2(金)から1人で日本に来ている。大阪市平野区のゲストハウス滞在。日本滞在は11/23まで。大学の博士号取得のための来日。落語の音楽の研究。日本滞在中に富山を訪れたいと思っている。

林家さんのまる氏に三味線の稽古をしてもらいたく、交渉中。たぶんOK?大阪では三味線を習ったり、図書館に行ったり、人をたずねてインタビューしたり?

ゲストハウスはバス・トイレ・キッチン共同。1人部屋にはベッドと冷蔵庫と机がある。テレビなし。きたない。月5万円。

10/1から1週間ご主人が来日予定。何をするかは未定。2年間シドニーの日本大使館に勤めていた(外国人10人、日本人30人くらい)。文化センターの仕事?去年10月に博士号をとるため、仕事をやめて大学に戻った。2013(30歳)まで。博士号のため勉強を続ける。来年もまた来日の予定あり。(以下略)《片山浩会員2011.9.5着信》

◆②「女の一生」松竹新派特別公演一井波総合文化センターにて東京恵比寿ロータリークラブ会員の女優の 司 葉子さんが出演されています「女の一生」が9/25(日)13:30より特別公演されると情報ガイド、ポスター等で宣伝しております。《荒井進会員より》

## ◆ニコニコBOX

丹羽武吾委員長

- 松井君 ガバナー補佐訪問、ガバナー来訪と続きました。御苦勞様でした。残暑が厳しい毎日、体調には気をつけて。
- 西村君 湖南学院、田中院長さんをお迎えして。
- 北島君 南砺ローターアクトクラブ小林会長を歓迎して。今後ともよろしくお願いいたします。
- 荒井君 「飛鳥II」北海道・東北クルーズを楽しんできました。ゲストの田中徹院長先生を歓迎いたします。
- 松本敏君 韓国のソバ祭りに利賀村のグループにまじり、参加しました。村興しの勉強になりました。
- 安谷君 一昨日、西村孝さん邸でマグロの兜を豪快に戴きました。マグロの頭の大きいのと目玉のおいしいのに感謝感謝。西村さん有難うございました。
- 河合君 今日午後2時より砺波地区の葉害防止指導員の総会及び研修会があり、早退します。
- 松本一君 都合により、早退します。
- 東 君 本日都合により早退します。
- 木勢君 早退します。

本日のプログラム 9月20日(火) 第2144回  
卓話 ㈱日本抵抗器製作所社長 木村 準氏  
会員 荒井 進君 担当

次の予定 9月27日(火) 第2145回  
米山記念奨学会情報 米山奨学生婿 雅(キセガ)君  
委員長 森 啓一君 担当

卓話

～非行防止への家庭教育の在り方～

湖南学院長 田中 徹先生



「第4回非行原因に関する総合的研究調査」結果から 一国（内閣府）による総合研究調査— 一般少年と非行少年とを比較することにより 典型的に非行原因や背景を探る 昭和52年、63年、平成10年に次ぐ4回目の調査 調査時期 平成21年10～11月 調査対象者（1） 一般少年

①小学5～6年・中学生・高校生(15都府県 小30中

29高29計88校)

②大学生 (全国5都府県の20歳未満の公立大)

》非行少年

①補導少年（触法及び犯罪少年）(20都府県の12歳以上で補導された少年)

②少年鑑別所所在少年（15都府県の17箇所少年鑑別所所在少年）

調査対象者（2） 保護者

・調査対象の小中学校の半数の保護者

調査項目及び方法

(1) 一般少年及び非行少年

①家族関係②友人関係③生活関係④学校・勉強⑤非行経験⑥性格傾向（小学生を除く）⑦地域活動

(2) 保護者

①非行問題②親の姿勢・子どもに望むもの③子どもの友人・生活態度④子供の進路⑤親子関係⑥親としての自信・不安

回収結果

(1) 一般少年 9,883名	(2) 非行少年931名
①小学生 3,184名	①補導少年 365名
②中学生 2,909名	②鑑別所所在少年 566名
③高校生 3,136名	(3) 保護者 2,718名
④大学生 654名	

第1の生活空間「家庭」

(1) 青少年についての調査

○同居家族について

非行少年は、父親・祖父母との同居が一般少年と比べて少ない。

父親：一般群 74.4%、非行群 58.4%

祖母：一般群 28.3%、非行群 17.0%

祖父：一般群 19.1%、非行群 10.0%

○親子関係について

「親から愛されていないと感じる」「親が厳しすぎると思う」

「親は家の中で暴力をふるう」

と答えた者の割合は、すべての属性で一般少年より非行少年の方が高い。

○食生活について

非行少年は、一般少年と比べて朝食や夕食を食べる習慣が少ない。とりわけ、朝食を食べる習慣について一般少年と比べ大きな差が生じている。

その要因は睡眠時間あるいは同居家族と関連

携帯電話・インターネット・ゲーム⇒睡眠減少

父親や祖父母の不在⇒家族が食事を作ってくれる機会が少ない。

(2)保護者についての調査

○非行に走る主な原因について

「親に問題がある」74.7% 「親としての自信は」57.3%

(どちらともいえない)

⇒保護者は、家庭が非行の大きな要因となることを認識はしているものの、非行抑制の自信については曖昧。

○まとめ

できる限り、家族の者が朝食や夕食を作るようにすること。

少年の生活習慣の乱れをなくし、学習意欲や気力の低下に歯止めをかける必要。

第2の生活空間「学校」

○クラスの中での成績について

「悪い方」と答えている（一般群 33.5%、非行群 70.1%）

○クラスの中でのスポーツ能力について

「できる方」と答えている（一般群 24.2%、非行群 51.2%）

○クラスの中での人気について（一般群 8.7%、非行群 30.5%）

○勉強の意義について

「将来社会人として必要な知識を身に付けたいから」と答えている（非行群：59.6%）

○進学希望について

「中学まで」と答えている（一般群：0.6%、非行群：19.5%）

「高校まで」と答えている（一般群：19.5%、非行群：55.2%）

○勉強の意義について

「将来社会人として必要な知識を身に付けたいから」と答える（非行群：59.6%）

○進学希望について

「中学まで」と答えている（一般群：0.6%、非行群：19.5%）

「高校まで」と答えている（一般群：19.5%、非行群：55.2%）

○学校の面白さについて

「だいたいつまらない」と答えている（一般群：25.8%、非行群：45.6%）

○学校の先生について

「気軽に相談できる先生が存在する」（一般群：36.8%、非行群：47.6%）

「自分の考えや意見に耳を傾けてくれた」（一般群：40.0%、非行群：51.8%）

○まとめ

非行少年は、勉強よりも、部活動やスポーツ等を行うことを得意とし、そのような意味でクラスの中での人気を集める。

勉強嫌い、クラスでの成績、進学という要素は非行と関連性がある。特に中学校時代に非行少年は授業がつまらないと感じておりそのことが進学に影響を与えている可能性もある。

第3の生活空間「地域社会」

○地域活動への参加について

「ハイキングなど自然に親しむ活動を行う」（一般群：33.7%、非行群：24.5%）

○地域社会の状況について

「エッチな雑誌やDVDの購入は簡単である」（どの属性でも非行群が高い）

「酒やタバコの購入は簡単である」（中学生以上の非行群は50.0%以上）

「子どもが殴り合いのケンカをしていると周りの人は学校や警察に連絡するだろう」（一般群：57.8%、非行群：74.4%）

○まとめ

地域活動について

とりわけ公園の掃除や花を植える作業、お年寄りの家庭や施設でのボランティア活動といった奉仕作業に参加させる。

地域社会の状況について

地域社会が一体となって有害環境に取り組んでいく必要がある。

第4の生活空間「情報空間」

○情報空間について

「インターネットのアダルト番組を見たことがある」（一般群：29.1%、非行群：43.8%）

「インターネットの掲示板等で悪口の書き込みをした」（一般群：33.7%、非行群：24.5%）

「自分専用の携帯電話を持っている割合」

（一般中学生：37.2%、非行中学生：64.1%）

⇒情報空間は、非行原因と関連性があることは明らかであり、子どもの健全育成に悪影響のある情報を防ぎ、携帯電話の使用は親がきちんとルールを守らせる必要あり。

「学校の勉強について親と話をする割合」（一般群：44.7%、非行群：27.2%）

⇒家庭において、できる限り保護者と子どもが向かい合って学校や身近な出来事についてコミュニケーションを行うことが重要。

第5の生活空間「居場所的空間」

○最近の非行経験/体験

「友達とゲームセンターで遊んだことがある割合」（一般群：82.1%、非行群：95.1%）

「友達とカラオケBOXで遊んだことがある割合」（一般群：67.5%、非行群：90.8%）

「友達と深夜まで遊び回ったことがある割合」（一般群：41.9%、非行群：86.3%）

食育のすすめ

○問題のある食生活「こ食」について⇒「こ食」は心と体に赤信号の食べ方 孤食、個食、固食、小(少)食、粉食、濃食

家族が不在の食卓で一人できびしく食べる

→好き嫌いを増やす

→発育に必要な栄養が足りない

→社会性・協調性が足りない

→ひきこもりやすくなる

⇒家族と食事をとることを指導

おわりに

・少年非行原因には、本人自身の問題の他にも学校や地域社会、マスメディア等数多くの要因が絡んでいるが、まずは第一の生活空間である家庭の在り方を検討すべきではないか

・保護者が「子どもに朝食を作ること」「夕食をできる限り子どもと一緒に食べる」といった基本的な生活習慣を、再度見直すことが必要ではないか

【紙面の都合で抜粋させて頂きました】

◆南砺RAC報告と要望 RAC会長 小林 誠君

現在2名の会員で存続が危ぶまれますが、皆様のご協力で月1回でも例会を行い、恒例のわらび学園との芋ほり交流(10/2予定)とか地区の行事に参加していこうと思いますので、どうか周りの若い人たちに入会を勧めてください。

(今回の会報担当 片山浩一)